

科目名	進路指導論					開講 キャンパス	神 園
担当者	村 山 詩 帆						
開講年次	3	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本講義において、担当教員は学校教育から職業への移行メカニズムとその変化について、教育学・社会学・社会心理学などの知見をふまえて講義し、受講生と共に「望ましい」職業観・勤労観、「主体的な」進路選択とは何かといった規範的なテーマを解題する試みを通して、受講生が将来、児童・生徒の進路選択を指導・援助するために必要となる思考力・洞察力を高める。						
授 業 の 到達目標	①知識・理解 - 関係法規等において「進路選択」や「進路指導」がどのように位置づけられているかについて理解する。 - 若者の就労をめぐる動向について、資料・データをもとに客観的に理解する。 - 学校教育から職業への移行メカニズムについて、社会学や経済学などの研究成果にもとづき理解する。 ②思考・判断+⑤技能・表現 - 学校教育から職業への移行メカニズムの変化について、資料・データを用いて説明できる。 - 学校教諭の業務や児童・生徒の多様性をふまえて、進路指導の在り方について批判的に吟味できる。 ③関心・意欲+⑤技能・表現 - なぜ選抜や進路指導が必要になるのかについて、第三者が納得するよう説明できる。 「キャリア教育」がいかなる経緯で現れたのかについて理解する。 「キャリア教育」について、現実的かつ積極的な方向性を示すことができる。 ④態度+⑤技能・表現 - 進路指導における「望ましさ」を、通俗的な言説に頼ることなく思考し、それを述べる事ができる。 - 自らが目指すべき進路指導の方針を主体的に見出し、それを説明できる。						
学習方法	受講生が授業への関与を強め、思考力・洞察力を高める仕組みとして、講師が設定するテーマについて受講生に所見を文章化させ、その所見に基づいて予備討議と本討議を行い、小テスト等で学習状況を確認する。						
テキスト及び参考書等	授業時間毎に資料・教材等を配布する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎	◎	◎		70	
小テスト等	○					10	
宿題・授業外レポート		○	○			10	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度	○	○	○	○		10	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション（次回までの課題・予備討議資料を作成する）						
第 2 週	予備討議（次回までの課題・予備討議の内容を整理する）						
第 3 週	進路指導とは何か（次回までの課題・配布資料の内容を理解する）						
第 4 週	教育と選抜（次回までの課題・配布資料の内容を理解する）						
第 5 週	教育と職業（次回までの課題・配布資料の内容を理解する）						
第 6 週	キャリア教育（次回までの課題・配布資料の内容を理解する）						
第 7 週	本討議・小テスト（次回までの課題・予備討議の内容を整理し、小テストの内容を理解する）						
第 8 週	試験と解説						
第 9 週							
第 10 週							
第 11 週							
第 12 週							
第 13 週							
第 14 週							
第 15 週							
第 16 週							
備 考	第三者の進路選択に対する指導について考えるだけでなく、自らの進路選択に関わる問題が提起されると考えて受講してください。						